



MARUKO Weekly Report



2023-2024丸子RCテーマ

「ロータリーの活動の輪を 地域の 力 に」

RI会長/ゴードン・R・マッキナリー D2600ガバナー/折井正明
会長/田中利幸 副会長/小宮山陽一 幹事/小池功二 会報委員長/ 笹井寿美枝

第2852回例会 2024年5月30日 Vol. 61/No. 28
夜間例会

例 会 日 誌

*司会 栗木悦郎さん

*SAA 佐藤重喜さん

*ロータリーソング 手に手つないで

【会長挨拶 田中利幸会長】

皆さん今晚は。

5月も最後の例会となりました。

あと1ヶ月で奥寺さんにバトンタッチです。

色々ありましたが、1年間無事終わりそうです。

最後まで皆さんよろしくお祈りします。

乾杯！

【幹事報告 小池功二幹事】

今週の着信

- ・第2600地区より
RYLA開催礼状送付
- ・米山記念奨学会より
「ハイライトよねやま」送付
- ・信州ルネッサンス実行委員会より
「ルネッサンス2024」開催案内送付

【出席報告】

会員数 40名 (内女性会員7名)

出席免除者 12名

本日の出席者 17名 (内出席免除者の出席5名)

【にこにこBOX報告】

「夜間例会設営ありがとうございました。」

田中利幸さん、小池功二さん、佐藤重喜さん

山田裕さん、内堀敏高さん、小宮山陽一さん

宮本伸司さん、服部正さん、河野正美さん

岡野茂春さん、大森美和さん、掛川浩邦さん

奥寺浩司さん、佐藤恵太さん、山浦智城さん

河西満正さん、井澤秀一さん

本日の喜投額 17,000円

今年度累計額 654,200円



ロータリーの友5月号より特集 青少年奉仕

青少年の育成を支援すること

次々年度丸子ロータリークラブがRYLA（ライラ）のホストクラブに任命されました。具体的な話（テーマ）はまだ決まっておりませんが、実行委員長（奥寺浩司）を中心にそろそろ準備を進めていかななくてはなりません。

会員全員の力が必要です。ご協力よろしくお願ひします。

タイミングよく今月のロータリーの友5月号に特集記事としてRYLAが掲載されていきました。

是非一読されホストクラブとして成功させましょう。

そもそもRYLA（Rotary Youth Leadership Awards）とは

ロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）は、14歳から30歳の若い世代を対象とした短期集中型のリーダーシップ養成プログラムです。

クラブ、地区、またれ、参加者が新しい社会と関わり、個人機会となります。

RYLAの運営者地域社会の具体的なて、行事の内容と形式です。

プログラムの種類に加型アクティビションや講演などがあ中・高生、大学生、とすることが出来、開ます。このような柔軟ニーズに合う画期的などが可能です。

RYLAを通じて若界で変化を生み出すたを身に着けることが出区にとってもRYLANな視点や考え方が得ら



ロータリーの青少年の育成を支援するプログラムは多種多様です。その一つ、ロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA = Rotary Youth Leadership Awards）は、1959年にオーストラリアで催されたセミナーを起源とし、リーダーシップスキルと人格を養いながら、ロータリーについて学ぶ集中研修プログラムです。ロータリアン自らがプログラムを組み、露食を共にするなどして世界各地で若者育成に取り組んでいます。クラブ、地区、または多地区合同の規模で実施が可能です。

RYLAの取り組みを紹介するとともに、青少年と接するに当たり重大な責務である青少年保護について学びます。

は他地区合同で運営スキルを学びながら、地域的・職業的に成長できる

は、参加者の対象年齢、ニーズや関心に合わせをカスタマイズできま

は、ワークショップ、パーティー、プレゼンターります。

更には若い社会人を対象催日数も自由に決められ性があるため参加者のプログラムを企画するこ

いリーダーは、地域や世めに必要な知識とスキル来ます。一方クラブと地参加者や学友の持つ新鮮れるメリットがあります

RYLAプログラムの目的

- ・若者のリーダーシップスキルを磨き、地域に貢献している若者を表彰すること
- ・若者の心に生涯にわたる奉仕の精神を育み、ロータリーを通じた奉仕の機会へと導くこと
- ・若者のリーダーシップ育成を支援することにより、ロータリーの青少年奉仕を实践すること